

## Eco+ Kamiken 株式会社 上里建設



本社屋(左) モデルハウス(右上)と、標準仕様の太陽光パネル設置住宅(右下)

- 本社所在地:埼玉県本庄市見福三丁目14番14号
- 事業概要:
  - ・建築・土木工事の設計・施工及び管理業務
  - ・不動産売買及び斡旋業務
  - ・宅地造成及び建売住宅・注文住宅の販売業務
  - ・太陽光発電システムの販売・施工及び管理業務
- 常時使用する従業員:60名  
(2025年11月時点)
- 現在の売上高:51億円  
(2025年7月期)
- 法人番号:9030001060478
- Web:<https://kamiken.info/>

### 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
戸矢 大輔

### 最新最速であり続ける

上里建設は、「つくること」を通じて、お客様の暮らしと事業を支え、地域の未来を形にする企業として歩んできました。私たちが掲げる“売上高100億円企業への成長”は、住宅・不動産・再生可能エネルギーという既存の強みに、ホテル（宿泊）事業という新たな柱を加え、地域に必要なとされ続ける価値（品質・安全・誠実さ）を高めることで、地域社会・お客様・社員の三者に持続的な好循環を生む挑戦です。当社は現在、建設事業21.5億円／不動産事業7.0億円／再生エネルギー開発事業22.5億円（計約51億円）の事業基盤を有しています。これら既存事業の生産性と付加価値を高めると同時に、インバウンド・国内需要を捉えたホテル事業を立ち上げ、2033年に売上高100億円を達成し、2036年には売上高150億円を目指します。建設を核としながら、住まい・資産・エネルギー・サービスの4領域で可能性を広げ、上里建設はこれからも誠実に、粘り強く挑戦し続けます。

### 売上高100億円実現の目標と課題

#### 実現目標

売上高達成に向け、第一弾ホテル完成年度から、全事業で年率15%程度の成長を目指します。2033年にホテル3棟で15億、全体では100億円を達成し、2036年にホテル5棟で25億、全体で150億円を目指します。



#### 課題

- ・住宅の原価上昇と人手不足の中で、品質維持、生産性・粗利の改善。
- ・不動産の稼働率、法人ニーズ対応の改善、商品展開。
- ・再エネは需要家開拓、契約/運用のパッケージ化、O&M高度化。
- ・ホテル事業に向けて体制構築の必要性。（多拠点展開に耐える標準化）
- ・ホテル事業の人手不足に対する省人化、サービスの高品質化、平均化。
- ・ホテル事業の他との差別化。
- ・全事業において、中小企業に見られる属人化の解消。

### 売上高100億円実現に向けた具体的措置

#### 目指す成長手段

- ・住宅は商品・工程・原価管理の標準化、受注導線（紹介・法人・土地活用等）の強化により、安定成長を実現する。年間着工棟数を倍化し、棟粗利率を改善する。
- ・不動産については、管理戸数を伸ばし、稼働率の平均化し、機会損失を減らす。
- ・ホテル事業と再エネ事業を絡めて、VPPAを重点領域とし、自社の発電を自社で使う地産地消モデルを推進する。また、省人化と運営標準化、直販/法人契約強化により、1棟平均5億円の収益モデルを確立し横展開する。ホテル事業の稼働率をブランディングにより安定させる。

#### 実施体制

- ・住宅事業は営業関連業務の標準化を原価管理をはじめとしてDX化の実施と半自動化を実施する。同時に土地の仕入れ体制の加速化を行い着工棟数から底上げする。地域雇用の創出を行う。
- ・再エネ事業をホテルの運営に絡めた自社消費のVPPAのブランディングを行うことで広告とし、PPA/VPPA需要家開拓の糸口としても機能させる。
- ・社長直轄で、ホテル部署の立ち上げを実施。自社での企画、設計、運営の目標を雇用創出機会と捉え、全社において計画的な賃上げを実施する。
- ・ホテル運営のDX化の実施推進を行うことで省人化を図る。
- ・日本、海外両文化に造詣が深い人材、またホテル事業における実績のある人材を活用し、訪日観光客の呼び込み、ブランド固定客化を図る。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです